インフルエンザウイルス抗原		3902100		
		担当部署		
インフルエンザ		微生物		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*7.特殊細菌→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		インフルエンザウイルス感染の診断は、本製品による検査結果のみで行わず、他の検査結果及び臨床症状を考慮して総合的に判断すること。		
検査受付時間		緊急対応（24 時間）		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		該当なし		
検体採取の特別なタイミング		特に無し		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	鼻腔	細菌 綿棒 4	なし	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温 採取後直ちに提出		
検体受入不可基準		1) 検査ラベルがない検体 2) 専用の綿棒以外で採取された検体 3) 乾燥した検体		
保管検体の保存期間		保存不可		
検査結果・報告				

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中				
生物学的基準範囲		A 型インフルエンザ抗原：陰性（－） B 型インフルエンザ抗原：陰性（－）				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		<p>飛沫感染であり強い伝播力があり、わが国では毎年冬季（12 月から 3 月頃）に流行し、一般的には A 型より B 型の方が軽症である。</p> <p>潜伏期は 1～4 日であり、症状は発熱、咳、咽頭痛、筋肉痛、関節痛、結膜炎などであり、重症の場合は肺炎により死亡する場合もある。</p> <p>「臨床微生物検査技術教本 2017 年」</p>				